

## 令和元年度 浜松開誠館中学校・高等学校 学校評価（自己評価）

評価項目	目標	具体的な活動・取り組み	担当者
教育方針	愛情教育により、笑顔が弾ける徳育の開誠館		
重点目標	①徳育教育の浜松開誠館と外部評価の声が高まる指導力を発揮します。		
	②愛情教育と愛校心で楽しく学ぶ学校を目指します。		
	③サリヴァンとともに学力向上に全力で励みます。		
	④本校No.1の教職員を目指し、一人ひとりの存在感を示す。この行動を創立100周年の目標となっている西部地区私学No.1の実現へ繋げます。		
	⑤「立ち止まり挨拶」100%実現のできる指導をします。		
	⑥「ICT教育」と「グローバル教育」の安定・充実強化し、成果発表の実現を目指します。		
徳育指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・K-compassの内容を改訂する。</li> <li>・7つの習慣Jの知識を深め、学んだことが日常生活で発揮できるように発展させる。</li> <li>・「チャレンジカップ」に参加する。</li> <li>・徳育成果校内発表会を開催する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーキンググループを立ち上げ、内容を厳選する。</li> <li>・毎週の「チャレンジ」に対して、確実に取り組むよう担任から促す。各クラスで進捗状況をSHRなどで発表させる。フォーサイトに振り返りを記入させ、自身の課題を明確にさせる。</li> <li>・「チャレンジカップ」に参加をし、グループで探究課題に取り組みながら自己肯定感を育む。</li> <li>・FCEに依頼して自己探求型のプログラムに変更依頼する。（高2のみ）</li> <li>・K-compassや7つの習慣Jを学んで、どの様に成長したのか（変化）文章にし、他者と協力してプレゼンテーションを行う。</li> <li>・徳育成課発表会を企画し、生徒に徳育の成果（気づき、変化など）を発表する機会をつくる。</li> </ul>	徳育課長
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習環境の整備を行い、全教員の授業力と質の向上を目指す。</li> <li>・ICTを活用し、新しい授業のあり方を推し進める。</li> <li>・学習到達目標を設定し、年間を通じた学習体制を確立する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業の形」を徹底させる。</li> <li>・教員の授業参観や教科会議での討論を活発に行う。</li> <li>・教授方法を工夫(アクティブラーニングやICT機器の積極的な活用を含む)し、授業改善等に積極的に取り組むよう、研究的雰囲気高める。</li> <li>・希望者を対象にスタディサプリや講習会を実施する。</li> </ul>	教務課長
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が主体的に進路を決定し、自己実現を図れるよう、計画的・組織的に指導、援助をする。</li> <li>・生徒の進路決定が本人や保護者の期待以上のものとなり、結果として進路実績が募集活動に貢献し得るものとなるよう各学年の教育活動を援助する。</li> <li>・情報の収集・処理・発信を適切に行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導室での進路相談体制の充実、各学年ごとの進路活動報告(学年通信など)、教員用指導マニュアル(手引き)の整備を行う。</li> <li>・キャリア学習の充実、ポートフォリオ・振り返りの推進、進路指導に関する活動の助言、チューター制の充実、書類作成に関する助言、中学における進路指導に関する各学年の意見聴取と検討を行う。</li> <li>・各学年・コースに応じた進路情報を発信する。</li> </ul>	進路課長
人格品格指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員全体が連携して統一した生徒指導を実践する。</li> <li>・TPOに応じて立ち止まり挨拶などを実践できるよう指導する。</li> <li>・生徒会や専門委員の活動などを通して、生徒自ら、よりよい学校づくりを目指し、積極的に活動するよう指導する。</li> <li>・美化意識の向上を図り、校内美化を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導方針の提示(生徒・教職員へ)と遂行、徹底する。</li> <li>・週1回の人品課会合の開催、日報を発信する。</li> <li>・TPOに応じた立ち止まり挨拶などを実施する。</li> <li>・積極的な学校生活づくりへの啓蒙活動を行う。</li> <li>・ウェルカムメークアップ作戦、浜名湖クリーン作戦、堆砂垣設置ボランティアへ積極的に参加する。</li> <li>・委員会活動を活性化させる。(専門委員長への指導等)</li> <li>・学校全体で実施できる地域貢献、社会貢献を実施する。</li> <li>・清掃方法を標準化し、整備状況を把握・共有する。</li> <li>・行事前の美化推進、点検項目の確認を呼びかける。</li> <li>・掃除用具、備品の在庫管理を徹底する。</li> </ul>	人格品格指導課長 (保健教育相談) 総務課長
保健安全管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒・教職員の心身の健康への支援と 不登校・いじめ等の予防と早期発見する。</li> <li>・教職員、生徒ともに防災意識の向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者と連携のとれた教育相談活動を実施する。</li> <li>・生徒理解のための一覧表作成や検査を実施する。</li> <li>・教育相談的な視点に関する参考資料・実践事例を紹介する。</li> <li>・いじめアンケートなどを実施し、結果をまとめる。</li> <li>・避難訓練を学校3回、総合グラウンド1回の合計4回実施し、防災意識を高める。</li> <li>・各種防災グッズの定期的な点検、種類や必要数の見直しを行う。</li> </ul>	人格品格指導課長 (保健教育相談) 総務課長
保護者等への情報配信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の善行を各保護者へ連絡する。</li> <li>・学年・部活動の情報発信機会を向上させる。</li> <li>・各種イベント、行事を速報性をもって発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各HR主任から、毎月1回以上「生徒の善行」を各家庭に電話やHR通信、クラスシーなどで連絡する。</li> <li>・ホームページを活用して、本校の教育活動(学習・部活動・行事など)を随時発信する。</li> <li>・広報イベント告知のツールを作成し、保護者や本校に関心のある方へ配布する。</li> <li>・大会結果、行事での様子など速報性をもって発信することで生徒の様子がタイムリーで知ることができるよう努める。</li> </ul>	中・高教頭 広報課長
地域住民との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と地域の有機的な連携と協働体制を構築する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の方々に文化祭、体育大会等の行事の案内を出し、参加していただくことで、学校の様子を知っていただく。</li> <li>・地域福祉協議会との協働体制を築き、地域からの要望に応えられるよう努力する。</li> </ul>	総務課長
グローバル推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異文化・多様性を受け入れ、地域/地球的規模の課題解決方法を主体的に考察し、グローバル社会を生き抜く力を持った人材を育成する。</li> <li>・英語力到達目標を意識し、学校設定科目グローバルのカリキュラムを整備する。</li> <li>・事前/事後研修を含めた体系的な本校独自の海外研修を行い、姉妹校と密接な関係を維持する。</li> <li>・三年目の集大成となるふじのくにグローバル成果発表会を成功させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6年間一貫教育における各クラスの進捗状況を共有する。(週1回)</li> <li>・ユネスコスクールの研究と申請を行う。</li> <li>・英語力進捗確認、英検/GTEC指導・結果分析、副教材/英語アプリ研究・導入する。</li> <li>・グローバルルームの推進・運営、サマープログラムを企画運営する。</li> <li>・グローバルエッセンス/グローバル科目の内容を設定し実施する。</li> <li>・外部機関との連携/フェアトレード学習を行う。</li> <li>・新モンゴル高校【渡蒙・訪日】交流を実施する。</li> <li>・オーストラリア研修【春季、夏季5週間、夏季10週間、中学4週間】を実施する。</li> <li>・交流先検討を行う。(スカイプ交流など)</li> <li>・Global Open Day・ふじのくにGH発表会の計画・運営を行う。</li> </ul>	グローバル推進課長
スーパー文理推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国公立大学および難関私立大学合格者10名以上をコンスタントに輩出できる体制を構築する。</li> <li>・サリバンの導入方法を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会議を行う。</li> <li>・夜間解放と放課後自学の指導を行う。</li> <li>・各種SP関連行事の運営を行う。</li> <li>・高3受験(出願)指導と中学の指導を検討する。</li> <li>・サリバンと連携する。</li> <li>・協議コース説明会への支援と協力を行う。</li> </ul>	スーパー文理推進課長

# 令和元年度 学校評価の報告

## 【自己評価・改善策】

判定	自己評価	改善策	学校関係者評価委員による評価		
			自己評価は適切か	改善方策は適切か	評価の理由、ご意見
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・K-compassの内容を精選し、シラバスの改編を行っている最中である。現在、道徳の内容と重複しているプログラムは削除して空き時間を確保し、新たなカリキュラムが組めるように計画した。</li> <li>・高2のシラバスを改編し、自己探究型のプログラムを取り入れたことにより、授業に対する生徒の主体的な取り組みを引き出すことができた。</li> <li>・徳育成果発表会を行ったことにより、生徒のモチベーションが上がり自己肯定感を養うことができた。また、徳育教育の価値を再確認することができただけでなく、生徒の表現力やプレゼンテーション力の向上を考える良い機会となった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・K-compassのプログラムを改編し、新たなプログラムを導入する案は継続課題である。</li> <li>・徳育教育に対する中学保護者の満足度が高まるように、保護者向け『K-compass通信』の発行を検討する。</li> <li>・フォーサイトの上手な活用の仕方を中高で共有できるように、定期的に情報を発信できるように検討する。</li> <li>・「徳育教育」＝「K-compass、7つの習慣J」ではないことを保護者に理解していただく機会を設ける。</li> <li>・生徒の表現力やプレゼンテーション力の向上に繋げる指導を心がける。</li> </ul>	A	A	徳育教育は具体的に見える形で行い、プログラムに沿って実施しているのがよい。
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の型を順守することについて、生徒は意識して取り組んでいる。</li> <li>・タブレットを活用した授業については、どの先生方も自然とできるようになってきた。また、学校評価においても中学生で87%、高校生で74%がタブレット活用で協働的・主体的に授業に参加できている。</li> <li>・希望者対象のスタディサプリについては、定期試験間に試験範囲の部分を自主課題として配信し、利用促進を図ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の型の順守については、今後も継続して行う。</li> <li>・ICT機器を活用した授業展開については、今後も引き続き取り組むと同時に活用方法を共有し授業改善につなげる必要がある。</li> <li>・主体的・対話的で深い学びの実現に向け、ICT機器の活用だけでなく、授業改善につながる研究的な雰囲気醸成が必要である。</li> <li>・希望者対象のスタディサプリについては、オンライン上での利用促進だけでなく、利用者講習等でオフラインでのアプローチも必要である。</li> </ul>	A	A	ICTを活用し、今後も授業の中で深い学びができるように指導してほしい。授業の型の順守等は良い指導ができている。
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導が体系化され、一定水準を維持した指導ができるようになっており、生徒の評価はどの区分でも到達目標を達成できている。決定進路に対する満足度（1月末現在）も約97%が満足と回答。</li> <li>・学年通信や「Classi」を用いた情報発信を積極的に行うことができ、一定の成果を得ていると考える。しかし、保護者の「Classi」利用の問題点（ログインできない等）が判明したことで、学校側の取り組みの効果が十分に出ていないと考える。</li> <li>・高2における進路学習については、その効果は現場からも好評で評価に値するが、上記の件もあり、その取り組みが保護者に十分伝わっていないと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体系的な進路指導の継続。</li> <li>・情報発信の継続。</li> <li>・各クラス、コース、学年における情報活用を促進する。</li> <li>・「Classi」利用（生徒、保護者）を促進する。</li> </ul>	A	A	高校は進路情報がクラッシーなどで多く配信されるのでよい。中学生に対しては将来の職業などの情報を提供し、子供に就きたい職業への目標を持たせるとよい。
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒、保護者共に学校のルールを守って生活できていると95%以上が回答しており、教職員が統一した指導を実践し、生徒たちに浸透したためと考えられる。</li> <li>・立ち止まり挨拶の啓蒙活動を実施し、昨年度よりも実践している生徒は少しは増えた。約84%の生徒が実践していると回答。</li> <li>・生徒会中心に委員会活動や社会貢献の実践を行ってきた。特に被災地などでのボランティア活動に積極的に教職員、生徒たちが参加した。</li> <li>・整備においては年間を通して掃除用具、備品の在庫管理を徹底し、整備状況の把握、共有を行ってきた。昨年度と比べても整備状況は飛躍的に向上し校内における美化は保たれた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度も教職員全体が連携して統一した生徒指導を実践できるよう、指導方針の提示や会合など継続して取り組む。</li> <li>・TPOに応じて立ち止まり挨拶を生徒自ら実践できるよう、全校集会やHR指導などを通じて機会があるごとに呼びかけを行う。</li> <li>・生徒会や専門委員の活動などを通して、生徒自ら、よりよい学校づくりを目指し、積極的に活動するよう指導する。</li> <li>・今年度以上に生徒の美化意識の向上を図り、校内美化をさらに推進する。</li> </ul>	A	A	生活面の指導がよくできているので校外で目立つ生徒はいない。また、PTA挨拶運動で見ても本校生徒の挨拶は最高によい。
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練を予定通り実施した。</li> <li>・防災備蓄品について、種類と量の検討を重ねたが、費用面で折り合いがつかず、今年度は従来通りの備蓄品を購入した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有事の際の非常勤職員の所在、安否の確認について、不十分な点があるため、確認方法を今後の課題として継続して検討する。</li> <li>・防災備蓄品の種類と量について、継続して検討する。</li> </ul>	A	A	夏の高校野球応援での吹奏楽部生徒の熱中症が心配であった。養護教諭や看護師を複数人付けるなど、炎天下対策を重くしてほしい。コロナウイルス対策についての知識を生徒に徹底して周知してほしい。
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページやきずなネット、クラッシーを利用して本校の教育活動（部活動・行事・緊急連絡）情報をタイムリーに配信することが出来た。しかし、各HR通信や部活動のブログ更新については大きな差が出た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動での顕著な実績は広報室がその都度懸垂幕や横断幕を作成し、学校に来校される皆様に周知することができた。</li> <li>・各HR主任や部活動顧問の教員の意識に差があるため、広報室や各担当の教職員と連絡を取り合い、HR通信やブログ配信を促す。</li> </ul>	A	A	ホームページやきずなネットで学校の情報がよく入るのでよい。ブログ配信では学年や顧問の差がないように努力してほしい。
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣地域の方々には、文化祭バザーにて満足する時間を過ごしていただいた。体育大会では近隣地域以外にも篠原地区の自治会長、近隣保育園の園児にも参加をしていただいた。</li> <li>・残念ながら今年度は地域福祉協議会からの協力要請はなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来校者が固定してしまっているため、新たな方にも来校していただけるよう、PR方法を継続して検討する。</li> <li>・地域福祉協議会との協力関係を今後も継続できるよう努力する。</li> </ul>	A	A	自治会や社会福祉協議会では、これからいろいろな動きをしたいと考えている。その場合は学校に依頼をしたい。
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部講師を招いてコースの生徒に気候変動に対する意識を向上させた。その結果、コースの生徒が発起人となり400人規模の気候マーチを実施することができ、外部からも高い評価を得た。</li> <li>・モンゴル研修はゴビ地域まで研修範囲を広げ文化交流できた。</li> <li>・ネイティブ教員の会議を定期的に関き、進捗を共有した。</li> <li>・グローバルリサーチを中心にSDGsをテーマに探求学習を進められた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年の状況を共有し、6学年が一貫した指導ができるように情報共有の機会を増やす。</li> <li>・海外語学研修の内容を、姉妹校と精査して変えていく必要がある。</li> <li>・グローバルルームをより多くの生徒が利用できるよう、ネイティブ教員を中心に生徒にアピールしていく。</li> </ul>	A	A	グローバル教育で生徒は成長できているので、このまま継続して指導してほしい。
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例会議を実施して、各学年の状況の確認と問題点の改善策を検討することができた。また、中高の接続についても検討した。</li> <li>・9階自習室の夜間解放を週に4日間実施した。</li> <li>・サリバン側と話し合い学習合宿の運営を協力して行った。</li> <li>・国公立大学合格を目指し、センター対策授業を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度からのサリバンの本格導入に向けて、担任サイドの協力体制を整えていく。</li> <li>・学習合宿のあり方については、今回見つかった課題をもとに協議を続けていく。</li> </ul>	A	A	生徒には受験に関する危機感や競争心が低いので心を鍛える指導をするとうい。学習面では仲良く教えあう生徒が多いのはよい。

A：達成できた B：おおむね達成できた C：やや達成できなかった D：達成できなかった

A：適切である B：どちらかという適切である C：どちらかという適切でない D：適切でない